

「デットにおけるインパクトファイナンスの考え方とインパクト測定・マネジメントガイドンス別冊」を公開

～エンゲージメントに関する現状課題と今後の展望～

金融機関が自主的にインパクトファイナンス推進を協働して取り組むインパクト志向金融宣言の融資・債券分科会は、日本の金融機関がインパクトファイナンスにおけるエンゲージメント（対話）に取り組む際の実務を支援することを目的とした「デットにおけるインパクトファイナンスの考え方とインパクト測定・マネジメントガイドンス別冊 ～エンゲージメントに関する現状課題と今後の展望～」を、公開しました。

本別冊は、日本のデット（融資・債券）におけるインパクトファイナンスの実務を、より高度化し現場で活用しやすくするために、主に「エンゲージメント」に焦点を当てて作成されました。サステナビリティの企画・推進部門でインパクトファイナンスを担う担当者が直面する「リアルな課題」を明らかにし、「何から着手すべきか」「どう継続性を持たせるか」「社内外の合意形成・課題解決をどう進めるか」といった実践的なヒントを整理しています。【ガイドンス別冊のリンクは [こちら](#)】

本ガイドンスの要点

本書は、日本のデット（融資・債券）におけるインパクトファイナンスの現場で直面する課題を整理し、実務担当者が「何から着手し、どう進めるべきか」を体系的にまとめた実践的なガイドです。全6章を通じて、基礎的な概念から将来の展望までを網羅しています。

エンゲージメントの意義と商品別の論点整理（第1章・第2章）

・インパクトファイナンスの本質が「金融リターンと環境・社会価値創出の両立」にあることを再定義し、金融機関と企業の継続的な対話（エンゲージメント）が不可欠であることを示しています。また、ポジティブインパクトファイナンス（PIF）やグリーンローン・ボンド、サステナビリティ・リンク・ローンなど、資金用途の特定・不特定といった商品類型ごとに異なるエンゲージメントの役割と論点を整理しました。

現場のリアルな課題抽出と「4つの不足」への対応策（第3章）

・企画・推進部門の担当者へのアンケートをもとに、現場が直面する壁を「時間」「人材／ノウハウ」「理解・共感」「ルール」の4つの不足として特定しました。表面的な対話に留まってしまう現状や、国際原則と現場運用のギャップを明らかにし、専門部署の設置や現場OJT、コレクティブエンゲージメントの活用など、実効性のある解決策と優良事例を提示しています。

企業へのIMM浸透と理想的なエンゲージメント像（第4章）

・企業におけるIMM（インパクト測定・マネジメント）の理解醸成と実践を促すためのポイントを解説しています。金融機関が、第三者評価機関との連携や部門横断的な対話を通じて企業を支援し、ESG情報開示の拡充やGHG排出削減といった具体的な改善・企業価値向上につなげた事例を紹介し、理想的なエンゲージメントのあり方を提示しました。

実務で使える「5段階のステップ」と運用チェックリスト（第5章）

・これまでの理論を踏まえ、エンゲージメント業務を実際に進める際の手順を、融資・債券別に「Step 0（方針設定）」「Step 1（導入対話）」「Step 2（進捗確認）」「Step 3（戦略的対話）」「Step 4（協同・共創）」の5段階に類型化しました。各ステップで活用できる具体的なチェックリストや、組織的なPDCAを回すための運用ポイントを明示し、実務の標準化を後押しします。

インパクトファイナンスの発展に向けた中長期的な展望（第6章）

・これまでの実務プロセスをさらに発展させ、社会課題解決と金融価値創出の両立を目指す業界の中長期的な理想像を議論しています。銀行融資においては、中小企業へのアプローチも含め、あらゆる融資にインパクト志向を組み込んでいくことへの期待を示し、債券分野においては、サステナブルボンドやトランジションボンドを通じた「広義のインパクト投資」の深化に向けた方向性を提起しています。

インパクト志向金融宣言

Japan Impact-driven Financing Initiative

インパクト志向金融宣言及び融資・債券分科会について

インパクト志向金融宣言：金融機関が扱う資金の流れを可能な限りインパクト志向へと変革させ、環境・社会課題を自律的に解決する持続的な資金循環を生みだすことを目指し、2021年11月に21社の金融機関により設立された民間イニシアティブ。多様なアセットクラスの金融機関が参画し、2026年3月現在75社の署名機関が7つの分科会を中心に活動。融資・債券分科会は、デットを通じたインパクトファイナンスの実務全般の普及や課題解決を目指している。

融資・債券分科会メンバーについて

■融資・債券分科会 座長・副座長

- ・清水 一滴 脱炭素成長型経済構造移行推進機構 財務・サステナビリティ推進部（座長）
- ・末吉 光太郎 株式会社みずほフィナンシャルグループ サステナブルビジネス部（座長）
- ・橋爪 麻紀子 株式会社日本総合研究所 創発戦略センター（副座長）

■執筆メンバー（五十音順）

- ・石渡 明 株式会社格付投資情報センター サステナブルファイナンス本部
- ・岡本 純宜 農林中央金庫 経営企画部 サステナブル経営班
- ・川越 広志 株式会社日本格付研究所 サステナブル・ファイナンス評価本部 評価部
- ・小林 巧 株式会社かんぽ生命保険 運用企画部
- ・芹沢 健自 大和証券株式会社 サステナビリティ・ソリューション推進部
- ・松山 将之 株式会社日本政策投資銀行 設備投資研究所
- ・谷ヶ崎 真尚 株式会社三菱UFJ銀行 サステナブルビジネス部



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

インパクト志向金融宣言 担当：小笠原 TEL：080-7003-6482 MAIL：idfi_contact@jidfi.org